

9. 高病原性鳥インフルエンザウイルスの消毒法

高病原性鳥インフルエンザウイルスA (H5N1、H7N9)に感染した家禽(ニワトリ、アヒル、七面鳥、ウズラ等)への濃厚接触によるヒトへの感染は、アジアを中心に世界中で報告されている。WHOに報告された国外のヒトにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスA (H5N1)の感染事例は、2003年～2025年1月28日時点で966例で、466例(48%)が死亡しており、致死率は高い。一方、国内ではヒト感染事例は確認されていない。また、ヒトからヒトへの持続的な感染は確認されていないが、ヒトからヒトへの感染性が高まった変異株の誕生が懸念されている。ヒトに感染した鳥インフルエンザのうち、高病原性鳥インフルエンザウイルスA (H5N1、H7N9)の鳥インフルエンザは、感染症法における二類感染症である。^{1)、2)}

【感染経路】³⁾

- ① 感染した家禽、水禽類やその排泄物、死体、臓器等との濃厚な接触により感染する。
- ② 患者との濃厚接触により感染することがある。

【症状】³⁾

高病原性鳥インフルエンザウイルスA (H5N1、H7N9)にヒトが感染して発症すると、高熱や急性呼吸器症状等を主とするインフルエンザ様疾患の症状が引き起こされる。下気道症状を併発して重症肺炎になることもあり、呼吸不全が進行すると、びまん性のスリガラス様陰影が両肺で認められるようになり、急性呼吸窮迫症候群(ARDS)の症状を呈するようになる。

【消毒法】(表)^{3)、4)}

鳥インフルエンザウイルスはエンベロープを持つウイルスであり、本ウイルスの消毒薬抵抗性は高くない。しかし、高病原性鳥インフルエンザウイルスA (H5N1、H7N9)の致死率は高く、感染した患者との濃厚接触により感染することがあるため、厳重な消毒が必要である。表に示す消毒法のほか、対象物に応じてポビドンヨードも有効である。

消毒の実施には、マスク、ガウン、手袋、シューカバー、キャップを含む防護服を着用して行う。

消毒後の物品は、可能であれば高圧蒸気滅菌を行う。なお、患者病室から物品を運び出す際には、物品を収めたプラスチック袋等の消毒も必要となる。プラスチック袋の外側を0.02～0.1%次亜塩素酸ナトリウムで清拭する。

使用後の防護服は、バイオハザードバッグに入れ、高圧蒸気滅菌(オートクレーブ)後に廃棄とする。ただし、防護服をやむをえず再使用する場合には、水溶性ランドリーバッグに入れた後にプラスチック袋に密閉して運び出し、熱水洗濯(80℃・10分間等)を行う。

表 高病原性鳥インフルエンザウイルスの消毒法

対象物 ^{*1}	消毒法 ^{*2}
床頭台 オーバーテーブル ⁴⁾	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール系（消毒用エタノール、70%イソプロパノール等）で清拭。 ・0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウムで清拭。
ベッド柵 椅子 トイレの便座 水道ノブ ドアノブ ³⁾	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール系（消毒用エタノール、70%イソプロパノール等）で清拭。
床 ⁴⁾	<ul style="list-style-type: none"> ・0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウムで清拭。 ・0.2%両性界面活性剤で清拭。
呼吸器関連の器具 ⁴⁾	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォッシュャーデイスインフェクター^{*3}(80℃・3分間等)。 ・0.01～0.02%次亜塩素酸ナトリウムに30～60分間浸漬。
銅製小物 ⁴⁾	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォッシュャーデイスインフェクター^{*3}(93℃・10分間等)。 ・2～3%ゲルタラールや0.55%フタラールに10分間浸漬。 ・0.3%過酢酸に5分間浸漬。^{*4}
リネン類 ⁴⁾	<ul style="list-style-type: none"> ・熱水洗濯（80℃・10分間等）。 ・0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウムに30分間浸漬。
手指 ⁴⁾	速乾性消毒薬（p4を参照）。
喀痰 ⁴⁾	焼却。
体液・排泄物 ⁴⁾	次亜塩素酸ナトリウム、消毒用エタノール、70%イソプロパノール。

※1 対象物に応じて、ポビドンヨードも有効である。

※2 濃度表示は、アルコール系はvol(v/v)％、その他はw/v％。

※3 ウォッシュャーデイスインフェクター（Washer-Disinfector：WD）は、汚染した器材を「洗浄→すすぎ→熱水消毒→乾燥」まで自動で行う装置のことである。⁵⁾ WDはウイルス汚染器材の第一選択消毒法である。⁶⁾

※4 金属腐食性の視点から10分間を超える浸漬は行わない。